

令和7年度 自己評価シート（年少児）

西 風 園

【ねらい】

1人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。

No	内 容		自己評価
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○→4
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり、行動したりしている。		◎→1 ○→3
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○→4
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○→4
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上および保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、園内外の研修に積極的に参加し、研修を通して必要な知識や技術の修得、維持および向上に努めている。		◎→1 ○→3
6	園全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容、また、指導上配慮を必要とする乳幼児に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎→2 ○→2
7	子ども1人ひとりの理解を深め受け入れる努力をしている。	① 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○→4
		② 食事や排泄のしつけを個々に合わせて工夫している。	○→3 無→1
		③ 心を落ち着かせるために、生活環境を整える（整理整頓）努力をしている。	○→4
		④ 禁止、命令や行動をせかしたり、自信を失わせるような言葉や態度はできるだけ控えている。	○→3 △→1
		⑤ 1人ひとりの発達段階によって可能な目標を定め、個々に合わせて支援を行っている。（個々にあった手助け）	○→4
		⑥ 子どものサインを見逃さず対応している。	○→4
8	1人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○→3 △→1
9	「かかわり」を意識して保育している。	① 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。（あやす・言葉がけをする・たしなめる）	○→4
		② 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気作りをしている。	○→4
		③ 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○→4
		④ 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○→3 △→1
10	①	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。（雰囲気を作る努力）	○→4
	②	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。（保健・衛生）	◎→1 ○→3
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、1人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の指示や協力の下に、適切に対応している。		◎→1 ○→3
12	保護者との連携が十分に取れている。	① 1人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎→1 ○→3
		② 気軽に話しやすい雰囲気作りができています。	○→4
		③ 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明することができる。	○→3 △→1
		④ 子育てに関する相談、援助に対応することができる。	○→3 △→1
		⑤ 支援を要する保護者に対して、適切に対応することができる。	○→3 △→1
		⑥ 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎→2 ○→2
13	地域との連携のあり方がわかる。	① 関係機関との連携のとり方を知っている。（保健センター、民生委員、子育て支援課など）	○→4
		② 地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○→3 △→1
		③ 実習生やボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○→4

記入方法：◎よくできている ○まあまあできている △あまりできていない ×できていない (4人中)

評価反省	・全体的にまあまあできているとの評価が多かった。 ・年度途中で入職した非常勤保育士が保護者との連携があまりできていないと感じている。	改善策	・1人だけで考えず、わからないことは他の保育士から助言をもらいながら保護者と接するようになる。
------	---	-----	---